

令和3年2月1日

保護者各位

## 学校評価に寄せられた意見について

富士市立岩松小学校  
校長 中村 俊一

富士山もやっと雪化粧を整え、一年で最も寒い時期に備えています。保護者の皆様には、日頃より岩松小学校の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

さて、12月に保護者の皆様からいただいた「学校評価アンケート」に寄せられたご意見について、全校に関わるものや、多かった事項について教職員で話し合いました。また、アンケートの結果を系統的に分析し、これまでの岩松小学校の教育活動をふり返りました。

### 1 学校教育目標・重点目標・学力について

- 令和2年度の重点目標「自分から考えよう⇨進んでやってみよう」について、児童の86.7%が頑張ったと回答しました。保護者からは、83.5%が「できた・どちらかといえばできた」との回答がありました。

◇ 重点目標について、86.7%という数字は、決して低い訳ではありませんが、昨年度の90.6%と比べると、3.9ポイントのダウンです。〔保護者〕今年度は、昨年度の88.5%から83.5%に5ポイントダウンしました。これについては、昨年度末に本校児童の課題を踏まえて、令和2年度の重点目標に「自分から」「進んで」の文言を入れたことが今回の結果に反映されたものと考えられます。今後も子どもの主体性を育む教育に力を入れていきます。

- 家庭学習では、児童の84.4%がすすんで学習していると回答しているのに対し、保護者からは60.3%と差があり、認識に差があることが分かりました。
- 読書について、児童の80.4%が「本に親しんでいる」と回答しているのに対し、保護者からは67.4%と家庭学習と同様、児童と保護者の間で差が見られました。

◇ 今も昔も親が望むことと、子どもの思いには少なからず「ずれ」があるものです。教員のアンケートでは、家庭学習、読書とも、どちらかといえば児童の回答に近い結果となりました。〔教員〕…77.2%(家庭学習)77.9%(読書)子どもの「すすんで学習している」「本に親しんでいる」という前向きな気持ちを大切に、やる気を失わせないように配慮しながら、質を高める手立てを講じていきます。

### 2 行事・児童会活動について

- 本年度、多くの行事が中止または規模縮小を余儀なくされましたが、児童(94%)、保護者(96.7%)から「やむを得ない」とのご理解をいただきました。
- かりがね活動は、児童の93.5%が「他学年との交流ができ良い活動だ」と評価しています。保護者に至っては、100%(そう思う89%、どちらかといえばそう思う11%)が良い活動と回答しています。

◇ 制限された環境の中、子どもたちにできる限りのことをしたいというのは、岩松小職員の総意です。今後も意義のある活動を、可能な限り工夫して実施していきます。

### 3 岩松小の教員の姿勢について

- 教員の姿勢に対する評価は、96.2%(児童)97.2%(保護者)と高い評価をいただきました。その一方で3.8%(児童)2.8%(保護者)のマイナス評価がありました。この結果を真摯に受け止め、全ての子どもが安心して楽しく学べるよう、職員一同、力を合わせて魅力ある学校づくりに取り組んでいきます。
- 「岩松小で良かった」94.9%(児童)99.4%(保護者)100%(教員) 私たちの岩松小学校が、いつまでもそう思える場所であり続けるよう、今後ご協力をお願いいたします。

☆ アンケートの集計結果、いただいたご意見は、岩松小学校ホームページからご覧ください。  
<http://www2.city.fuji.shizuoka.jp/~p-iwamatu/>